

続 雪印種苗(株) 苫小牧工場の歴史

飼料生産部 苫小牧工場 松田 昌樹

日頃より弊社苫小牧工場の配合飼料をご愛顧いただき、心より厚く御礼申し上げます。

前号に続きまして苫小牧工場の歴史を振り返ります。

1986(昭和61)年3月より本格操業を開始しました。月産生産数量は、5,000トンをペースで進捗し、順調な滑り出しとなりました。

新工場は操業開始から6年後に年産で10万トンを超えました。その後、生産数量増加に伴い製造能力の改善、新原料を採用するための設備投資、製品保管スペースの確保など様々な課題が生じました。それらの課題を解決するため、設備の増強を実施しました。主な設備増強の概要は次のとおりです。

- ① 1991(平成3)年6月製品タンク(12本)および専用トランスバッグ充填設備増設



製品タンク増設

- ② 1997(平成9)年9月粗飼料(ハイキューブ)設備増設(破碎機・精選機等)
- ③ 2001(平成13)年10月製品タンク(4本)増設

- ④ 2002(平成14)年8月紙袋自動抜取装置導入(配積みロボット等省力化)
- ⑤ 2006(平成18)年2月ペレット加工設備増強
- ⑥ 2007(平成19)年11月製品倉庫増設、各種搬送機に残留防止装置を設置



増築した製品倉庫(手前)



製品倉庫の内部

- ⑦ 2010(平成22)年11月予備配合(プレミックス)タンク(4本)増設
- ⑧ 2012(平成24)年3月工場設備省エネ化推進(高効率電動機、LED照明など)

⑨ 2015（平成27）年抗菌剤専用ライン増設



抗菌剤専用ライン：機械色は青
※抗菌剤無添加ライン機械色は緑



抗菌剤専用計量ミキサー

また、設備増強以外の主な出来事は次のとおりです。

- * 1992（平成4）年7月より製造2交代制を導入
- * 1994（平成6）年5月福利厚生施設として独身寮「淳風寮」建設



独身寮（名称：淳風寮）

- * 1996（平成8）年6月に製造数量累積100万トンを達成
- * 1999（平成11）年12月に月産13,000トン超を記録した
- * 2003（平成15）年日本国内におけるBSE問題発生に伴いB飼料製造を中止。牛用配合飼料（A飼料）専用工場となる
- * 2004（平成16）年12月に製造数量累積200万トン達成
- * 2008（平成20）年品質マネジメントシステムISO9001認証取得
- * 2011（平成23）年3月東日本大震災発生により、4月東北地方向けに製品供給支援（月産12,000トン中、約2,000トン）
- * 2014（平成26）年6月に製造数量累積300万トン達成
- * 2016（平成28）年2月抗菌剤GMPガイドライン適合認定を受けた
- * 2018（平成30）年9月食品安全マネジメントシステムISO22000認証取得
- * 同月に北海道胆振東部地震発生（工場一部被害を受ける）
- * 2019（平成31）年1月ホクレンくみあい飼料株式会社との合弁会社設立についてプレスリリース

2019（平成31）年4月にホクレンくみあい飼料株式会社と雪印種苗株式会社で合弁会社「ホクレンくみあい・雪印飼料株式会社」を設立しました。2021（令和3）年12月、「ホクレンくみあい・雪印飼料株式会社」の新工場操業開始に伴い、弊社苫小牧工場は2022（令和4）年3月末をもって製造を終了します。操業を終了するまで安全第一で、安定した品質の製品を製造いたします。

弊社苫小牧工場の従業員は、操業開始より現在まで一貫して「安全で高品質な製品を製造する」志を持ってきました。これまで培ってきたノウハウを新工場に継承します。今後も変わらぬお引き立てと、ご支援の程を宜しく申し上げます。